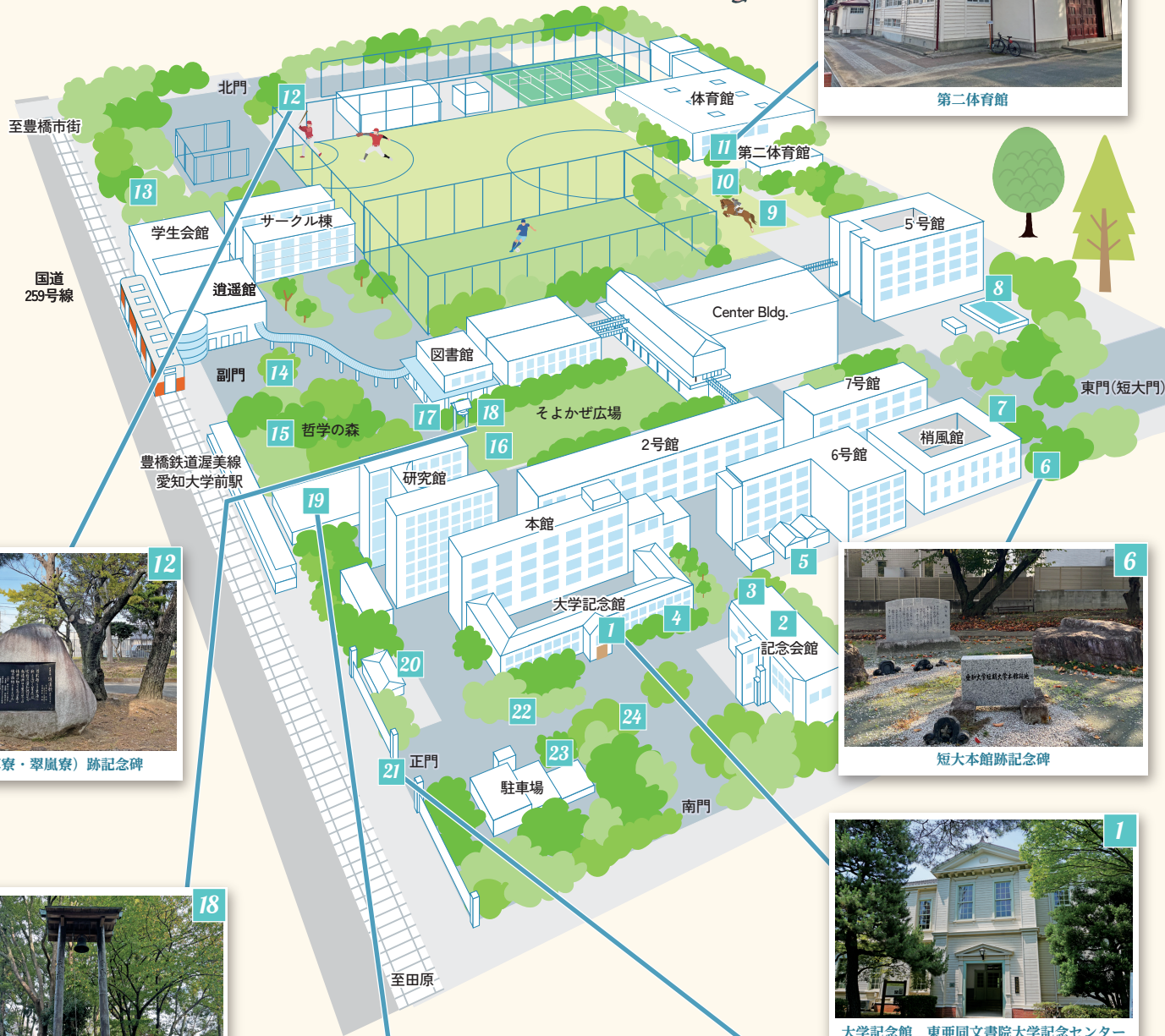


愛知大学 歴史探検マップ

25箇所めぐりに行くこう！



愛知大学歴史探検マップ解説



1

大学記念館 東亜同文書院大学記念センター
1908(明治41)年建築。旧陸軍第十五師団司令部庁舎、文化庁登録有形文化財。菊御紋章の跡や陸軍星マークが残る。

2

記念会館
入口横に故本間喜一名誉学長の胸像が設置されている。

3

菩提樹
会議などで先生方が行き詰まった時にこの木の下で思考を深め、よりよい愛知大学に導いてほしい、という本間喜一先生の思いから植えた。

4

東亜同文書院100年記念樹
2001(平成13)年、記念植樹された。月桂樹。

5

中部地方産業研究所附属生活産業資料館
旧陸軍の機銃廠(機関銃の整備場)として、1908(明治41)年に建設された。

6

短大本館跡記念碑
旧短大本館は、偕行社(陸軍将校の親睦団体)施設として1909(明治42)年に建設され、戦後は短大本館として使用されたが、老朽化により2011(平成23)年に取り壊された。

7

大正天皇・皇太子(嘉仁(ヨシヒト)親王)時代のお手植え松
1911(明治43)年植樹。

8

プール
火薬庫があった名残り(土塁は火薬庫の周囲にあったもの)。

9

厩舎・馬場
旧陸軍にとって馬は「なくてはならない存在」。

10

天皇陛下行幸記念松
1927(昭和2)年植樹。

11

第二体育館
旧陸軍の大講堂。1927(昭和2)年に建造された。鉄骨が特徴的。

12

学生寮(思草寮・翠嵐寮)跡記念碑
旧陸軍の兵舎として建設された建物を、学生寮として使用していたが、1988(昭和63)年に取り壊された。

13

吹雪山
「思い出」の地を後世に残すため陸軍教導学校の生徒によって築造。1995(平成7)年陸軍教導学校・陸軍予備士官学校記念碑が建てられた。

14

副門前ロータリー状の植え込み
旧陸軍の神社跡地。

15

哲学の森・古墳・土塁
旧将校集会所へと続く空間。当時の門柱が残る。戦後、古墳が移設された。

16

亜細亜友好記念碑
2014(平成26)年建立。東亜同文書院大学や建国大学など、海外の大学から引き揚げてきて愛知大学に学んだ学生たちが、戦前戦後に育んだアジアの人々との友好を記念して建てた。

17

愛知大学設立趣意書石碑
1966(昭和41)年、大学創立20周年を記念して同窓会によって建立された。

18

自由受難の鐘
1951(昭和26)年、柱を新設(第4回卒業生の寄付)。1966(昭和41)年、現在地に移設。1996(平成8)年、名古屋校舎にも建立。

19

中部地方産業研究所書庫・総合郷土研究所倉庫
旧陸軍の将校集会所として1908(明治41)年に建設された。

20

教職員組合事務所
『中日大辞典』の編纂が始まった場所。旧陸軍の養正舎として、1927(昭和2年)に建設された。戦病死した陸軍教導学校関係者の遺影や遺品を陳列した記念館だった。

21

正門・塀
「第十五師団司令部址」の標柱。

22

昭和天皇・皇太子(裕仁(ヒロヒト)親王)時代のお手植え松
1918(大正7)年植樹。碑は1925(大正14)年の師団廃止時に設置された。

23

昭和天皇皇后の父・久邇宮邦彦(クニノミヤクニヨシ)親王(第十五師団長)お手植え松
1918(大正7)年植樹。久邇宮邦彦親王は、第十五師団長として居住・勤務し、後に香淳皇后となる良子女王もこの地で過ごした。

24

なんじゃもんじゃ(ヒトツバタゴ)
「なんじゃもんじゃ」と議論して思考を深めてもらいたい、という本間喜一先生の思いから植えた。

25

公館
1912(明治45)年に建設された第十五師団長官舎。第十五師団廃止後も、陸軍教導学校、予備士官学校校長官舎として、また戦後は愛知大学教職員宿舎として、使用された。豊橋市指定有形文化財。